

令和6年度北海道上ノ国高等学校 学校評価【自己評価】		4 十分	3 概ね 十分	2 やや 不十分	1 不十分	平均
1	経営 学校教育目標やスクールミッションを踏まえ、学校経営ビジョン(「学校経営方針・シラバス」)が適切かつ分かりやすく提示されている。	5	4	1	0	3.4
2	経営 学校経営ビジョン(「学校経営方針・シラバス」)は、教職員に共通理解・浸透が図られ、その実現に向けた特色・魅力ある教育活動が実践されている。	3	6	1	0	3.2
3	経営 保護者やPTA、地域、各種関係機関等との相互理解や協力体制があり、生徒・保護者・地域の願いや期待をしっかりと受け止めながら、開かれた学校づくりに努めている。	6	3	1	0	3.5
4	経営 「学校経営方針」の具現化に向けて、分掌・学年・教科間で協働体制が構築され、校務を計画的・組織的に、円滑に、遅延無く進められている。	1	5	4	0	2.7
5	経営 働き方改革の趣旨を踏まえ、心理的安全性が保たれ、だれもがやりがいを感じながら働くことのできる職場環境が整えられている。	1	2	4	3	2.1
6	経営 安全・安心な教育環境が確保されるよう、組織全体として危機管理意識の高揚と危機管理体制の確立が図られている。(服務規律保持、安全管理、情報管理、金銭管理、施設設備管理等)	3	5	2	0	3.1
7	学習指導 生徒の実態や本校の特色を踏まえるとともに、生徒の進路実現を見据え、適切な教育課程の編成と実施が授業時数の確保を含め、十分になされている。	3	6	1	0	3.2
8	学習指導 学びに対する目標や計画、方法について見通しを持たせ、生徒が学ぶ楽しさや意義を感じ、誰一人取り残されることなくわかる授業となるよう、工夫・改善に取り組んでいる。	4	5	1	0	3.3
9	学習指導 「個別最適な学習」と「協働的な学び」、ICTの活用が意識され、生徒が考えを深めたり、自分の意見をまとめたり、相互に交流、発表し合う授業や、問題解決的な学習を取り入れた授業が展開されている。	3	6	1	0	3.2
10	学習指導 探究的な学び等を通じ、地域や社会に主体的に関わりながら、よりよい社会を創造していこうとする当事者意識を醸成する教育活動が十分行われている。	2	7	1	0	3.1
11	学習指導 多様な個性を持つ生徒をさまざまな観点で評価する授業に取組み、生徒一人ひとりの学習意欲を引き出す学習評価の工夫・改善が行われている。	1	8	1	0	3.0
12	生徒指導 傾聴と共感に基づく、教職員や関係機関との情報共有を通じた多面的な生徒理解を大切に教育により、生徒との信頼関係が十分構築されている。	3	5	2	0	3.1
13	生徒指導 各種取組から、自己理解を促し、いじめ未然防止の観点からも、多様な他者との好ましい人間関係の在り方を大切にする心、他者を思いやる心を育む教育を大切にしている。	6	2	2	0	3.4
14	生徒指導 教職員の共通理解の下、規範意識や基本的生活習慣の定着に向けた指導が十分に行われている。	4	4	2	0	3.2
15	生徒指導 学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア等により、主体性を育成し、集団や地域社会に関わる活動に積極的に参加できるよう支援・指導を行っている。	6	4	0	0	3.6
16	生徒指導 保護者との連携が密に行われ、保護者の思いや困りごとなどへの共感的理解を心掛け、子どもの成長に向けた認識の共有化に努めている。	3	6	1	0	3.2
17	生徒指導 個別に支援が必要な生徒に対して、関係機関との連携も含め、組織的に、早期から対応に当たることができている。	4	4	2	0	3.2
18	保健安全 薬物・性に関する指導を含め、心身の健康を適切に管理し、増進する力を育成する健康安全指導が十分行われている。	5	2	3	0	3.2
19	保健安全 交通安全や防災意識の高揚を図り、自他の生命を尊重する態度の育成が適性に行われている。	6	3	1	0	3.5
20	進路指導 社会の変化を前向きに捉え、さまざまな外部関係機関等との関わりの中、自身の生き方・在り方成について主体的に考え、円滑に社会生活・職業生活に移行する力を育成する指導が系統的、計画的に行われている。	5	5	0	0	3.5
21	進路指導 生徒が自己理解を深め、個々の進路目標実現に向けて、進路意識の早期醸成や主体的な活動を促す指導が適切に行われている。	4	6	0	0	3.4
22	進路指導 生徒・保護者、教職員に対して、進路指導に係る適切な情報提供と共有化を図っている。	3	6	1	0	3.2
23	進路指導 生徒個々の進路実現に向け、講習や模試の実施、検討取得、オンライン学習教材の効果的活用に向けた指導が計画的に行われている。	3	6	1	0	3.2
24	研修研鑽 各種研修や自己研鑽による資質・能力の向上を図りながら、授業改善をはじめ教員としての力量向上に、絶え間なく取り組んでいる。	3	6	0	1	3.1
25	広報PR HP、学校だより、安心安全メール、各種メディア等を積極的に活用し、本校の教育活動を保護者、地域に積極的に発信し、理解を得られるよう努めている。	2	6	2	0	3.0